

ありがとう！さようなら！雁股田分校122年の歴史に幕

3月23日、小野新町小学校雁股田分校の閉校式が、在校生、修了生、雁股田行政区関係者など約300名が出席し、同校体育館において挙行されました。

宍戸町長が「雁股田分校が小野町の人材育成と地域教育に果たしてきた役割と実績は誰もが認めるところであり、永遠に素晴らしい記憶として残っていくことと思います」と式辞を述べ、続いて西牧裕司小野新町小学校長から雁股田分校の長い歴史とこれまで関わってこられた地域、関係者に対するお礼のあいさつと、



分校児童一人ひとりに激励の言葉がありました。会場内には、数々の出来事を思い出すようにうなずく姿が見られました。

また、児童を代表して4年生の吉田美波さんが、雁股田分校に対する感謝の気持ちと、4月から始まる新しい学校生活への期待を含め、別れの言葉を述べました。

このあと、出席者全員で校歌を歌い、思い出深い雁股田分校との別れを惜しみました。

式典終了後には、雁股田分校閉校記念事業実行委員会による「閉校記念碑」の除幕式が行われました。記念碑には、雁股田分校の歴史と行政区・修了生の皆さんの分校に寄せる思いが刻まれています。

続いて行われたお別れ会では、児童全員で分校の長い歴史を振り返る「雁股田分校」の劇を発表しました。また、実行委員会で準備した手作りの味ご飯とけんちん汁が出席者全員に振る舞われました。会場内は久しぶりに再会した恩師と談笑したり、郷里を離れた方が久々の再会を懐かしんだりする様子が見られました。

児童代表別れの言葉 4年 吉田美波

冬のきびしい寒さも、いつしかやわらぎ、ようやくここ雁股田分校にも、123回目の春がおとすれようとしています。

わたしたちの学校、雁股田分校は、今ここに122年の長い歴史を閉じることになりました。長い年月を歩み続けてきた伝とうの重みをひしひしと感じます。

雁股田分校は、明治18年9月に、田母神小学校雁股田分教室として開校しました。その後、明治39年6月に新町じんじょう小学校雁股田分教場と名前を変えて、表にある大伝寺に場所をうつしました。大正15年7月には、仁井殿に新校舎ができました。

今の分校は、昭和56年に建てられたものです。このように、わたしたちの分校は長い歴史の中で、そのすがたや場所を変えてきましたが、分校で学んだたくさんの先ばい方は、母校の思い出を心にきざみ、分校生であったことをほこりに思い、過ごされてきたと思います。

わたしたちもこの雁股田分校が大好きです。みんなとても仲良しで、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合い言葉に、どんな時もささえ合い、はげまし合ってきました。わたしたちはいつも、この雁股田分校をほこりに思い、自まんしてきました。

でも、子どもの数は年々へり、4月からついに、10人みんなそろって小野新町小学校に通うことになりました。そして今日、雁股田分校は閉校します。わたし

たちは、4月から、小野新町小学校で新たな気持ちでがんばろうと、心に決めていきます。新しい友だち、新しい活動、これからどんな事が始まるのかと、希望をふくらませています。これからは、小野新町小学校をすばらしい学校にするために、わたしたちは力を合わせてがんばっていきます。

今まで雁股田分校とわたしたちをささえてくださった地いきのみなさん、先生方、今日おこしの来ひんのみなさん、ありがとうございました。4月からは、小野新町小学校とわたしたちをよろしくおねがいします。

最後に雁股田分校にかんしゃの気持ちをこめて、この言葉をおくります。ありがとう雁股田分校 さようなら雁股田分校

